

大事なものを 奪った堺大空襲

汐見弥寿子

私は、大正8年に大町西3丁で生まれ、結婚して夫の仕事の都合で母と大伯母を残して東京へ行きました。杉並区にいましたので割合に空襲は少なかったのですが、20年になってからは東京も大阪も大空襲を受けました。

6月25日の夜、警報で外へ出ると、大きな焼夷弾の固まった箱がキラキラと光りながら、上からどんどん頭に落ちてくるのです。二人はびつくりして軒へ逃げ込みました。そのまま落ちてきたら命がなかったのですが、気流の加減か、ある所まで落ちると、斜めに流れて行ったのです。私たちは命拾いをしました。

堺のことが心配でしかたがなかったので堺へ帰らしてもらいました。竜神駅の周辺は建物疎開で、すっかり変わっていました。

7月9日の夜、和歌山が空襲で、近所の人は皆見ていました。家へ入ったとたん、ラジオが「堺の西からB29侵入」。びつくりしました。母は産婆をしていましたので、空襲警報が出ると救護班へ行くのです。「行って来るよ」と、母は出て行きました。それが母との最後でした。私は裏庭へ出ました。屋根の上でも地面でも、たくさん焼夷弾が燃えています。地面にも落ちているのを足で踏んで消して廻りました。

ふと気が付くとむかいの人が、布団をかぶって逃げていくのです。「ああそうか。逃げなくては」と気が付いて、大伯母と二人布団をかぶって表へ出ました。南を見ても、北を見ても家が燃えていて通れない。四ツ辻も西は通れず、東だけが燃えていないので暗かった。足は自然に東に向かい、たどり着いたのが東光寺の墓地でした。丁度、今のフェニックス通りの利晶の社の前あたりです。既に、大勢の人が固まっていた。暫くすると、爆風で固まった人たちが

戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

私の戦争体験 〈26〉

皆、南から北へ十束位飛ばされました。かぶっていた布団が、木の葉のように飛ばされました。1枚の布団を拾ってまた、かぶりました。

だんだん火は広がって、私たちはまるで火の壁に包まれているようでした。建物疎開して道が広くなっていたので、私たちは助かったのです。火はすごい勢いで、ゴーゴー、パチパチと燃え、煙で目は痛く、火の粉が飛んで、かぶっている布団が燃え、お互い注意し合って消し、朝を待ちました。

夜が明けると火もおさまりました。私は母を捜そうと、大伯母を田井町の親戚へ行かせ、一人で歩き出しましたが、救護班は皆焼けてしまつて、なかなか母と会えませんでした。

やつやう斎藤先生に会い「汐見さんだけ消息がわからない」と云われてびつくり。母は死んだのか。そしたら遺体を捜さなければと思いました。

東京では遺体を大きな鳶口で引かけ、四ツ辻まで引きずって集まった遺体は、鳶口で引かれてトラックにぼろり投げられるのです。

私はそういう事をされない前に、自分でお葬式をしたいと思ったので、母を捜しに歩きました。住吉橋には何百体もの遺体が積み上げてありました。

丁寧に見ましたが見つからず、市小学校の南側の道へ行きました。8人の遺体がありました。一番西に真っ黒な遺体がありました。衣類はすっかり焼けてしまつてましたが、体の形が母にそっくりなので、警察の人に覚えてもらいました。間違いないと思って、遺体をその近所の知合いの人に預けて、私は葬儀屋を捜しに行きました。1軒目は断られ安井町の公益社へ行け!と云われました。

日が暮れて来た上に、その晩は停電で、そこへ雨が降ってきました。道が見えないので、下を向いて道の水たまりを頼りに歩きました。やっと、公益社へたどり着き、座棺を分けて貰うことができました。明日納棺して火葬場まで持って行ってくれるよう頼み、私はそれから田

出井町で待つ大伯母の所へ行きました。

また、真っ暗な道を急ぎました。今でも何処を歩いたかわかりません。難儀してやっと大伯母に会えました。親類の家も焼けて、その防空壕にいました。あくる日、大伯母を母の所へやって、私は市役所へ死亡届を出しに行きました。

市役所には人があふれて長蛇の列。私も並ぶと近所の人が多く、1軒に1人は死んでいるし、全滅の家も何軒かあるようでした。火葬場へ行くと、座棺は届いてました。燃料がないから、いつ焼けるかわからないとのことでした。

夫にどうして知らせようかと思いましたが、堺では電報が打てないので、阪和線で天王寺へ行きましたが、阪和線は超満員。何とか乗って天王寺郵便局へ行くと「私用の電報は打てません」と断られました。私は、泣きだしました。郵便局の人も同情して「区役所へ行け」と言われ、区役所へ行く、やっと区長名を入れた電文にすることを許してくれました。

2、3日して夫が帰ってきてくれました。3人になると寝る所はなし、住む所もないので、ただ1軒の田舎の知合いが、上神谷村にあったので、南海高野線に乗り一里ばかり山道を歩いてたどり着きました。幸い1軒の大きな家の1部屋を貸してくれましたので、その晩やっと畳の上で横になれました。

夫は奈良の本社へ戻り、二人は田舎に残りましたが、食べ物がない。おかゆに土筆やセリを積んできて食べました。お金もないので、堺の銀行まで毎日通いました。

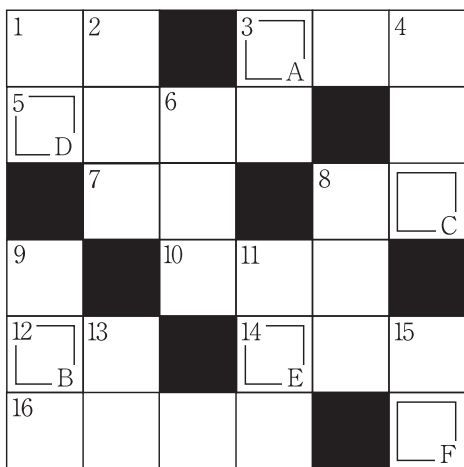
1日に1つの銀行しか行けず、7月の暑い中を毎日並びに行き、やっと少しのお金が入りました。しかし、新円切替で使えなくなりました。

10月になってやっと授かった第1子が、8カ月で死産しました。無理がたたんだと思います。空襲は私から大事な大事な母を奪い、第1子を奪い、住む所も何もなくて裸にしました。戦争は恐ろしいものです。

お楽しみクイズ

クロスワードパズル

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?



タテのキー
① 昼晩
② 蹴ること
③ 所、
④ 正しい生活
⑤ 前期の対
⑥ 漢字で綴った詩
⑦ 東京、名古屋、大阪にある区
⑧ 弱気の選手に
⑨ 得
⑩ 11月の答え「シチゴサン(七五三)」
⑪ 特別に行う訓練

ヨコのキー
① 夏の後の季節
② ポプラの道
③ この頃、の風潮
④ バットがを切る
⑤ 上のチーム相手に健闘した
⑥ 身分の高い客。室
⑦ 親しきにも礼儀あり
⑧ 高—テレビを買う

●11月号の答
「シチゴサン(七五三)」
●応募数/86通

●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、
あて先/〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2
友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにて郵送ください。
●しめきり/2019年2月13日(水)消印有効
●当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード500円分)を、賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

平和と憲法のつどい

落語で学ぶ

新ちゃんの

お笑い憲法・人権講座

2月8日(金) 17:30~19:00
会場 みみはらホール

- 平和と憲法のつどい企画
- 新ちゃんのお笑い憲法・人権講座
- 今後のとりくみ

参加費
無料

プロフィール
露の新治 1951年大阪市生野区生まれ
奈良の夜間中学設立運動に関わり、「やりたいことをやるべきだ」と教えられ、落語家となる。また夜間中学設立運動に関わる中で学んだ人権感覚を生かして、「新ちゃんのお笑い人権講座」を口演。2015年、人権講座の功績が認められ第6回奈良人権文化選奨受賞。同じく2015年、「露の新治寄席」の成果により第70回文化庁芸術祭賞優秀賞受賞。

主 催：医療介護まちづくりの会
連絡先：健康友の会みみはら事務局 072-244-8061